

別紙

歯と口の健康づくりに関する主な目標

目 標 項 目	京都府	
	現状値※	目標値
	平成28年度	平成35年度 (2023年度)
◆ 乳幼児期		
【目標】健全な歯・口腔の育成		
3歳児でむし歯のない者の割合の増加	83.3%* (H27)	90%
◆ 学齢期		
【目標】健全な歯・口腔の育成		
12歳児の一人平均むし歯数（DMFT指数）	0.73本	0.5本以下
◆ 成人期		
【目標】歯科口腔保健の推進体制の整備		
20歳以上で定期的（過去1年間）に歯科健診を受けている者の割合の増加	53.7%	65%
【目標】健全な口腔状態・機能の維持・向上		
20歳代における歯肉に炎症所見を有する者の割合の減少	28.9%	20%
40歳代における進行した歯周炎を有する者の割合の減少	44.4%	30%
40歳(35～44歳)で喪失歯のない者の割合の増加	71.6%	75%
60歳代における咀嚼良好者の割合の増加	61.0%	70%
【目標】歯の喪失の防止		
60歳代における進行した歯周炎を有する者の割合の減少	55.8%	45%
60歳(55～64歳)で24本以上の歯を有する者の割合の増加	73.3%	75%
◆ 高齢期		
【目標】歯の喪失の防止		
80歳(75～84歳)で20本以上の自分の歯を有する者の割合の増加	58.3%	60%

\*京都市を含む。

※現状値は、平成28年度京都府民歯科保健実態調査の統計値

乳幼児期：厚生労働省地域保健・健康増進事業報告から算出

学齢期：京都府教育庁指導部保健体育課「京都府児童生徒の健康と体力の現状」から引用